

「耐震性能見える化協会」が始動

日本屋根経済新聞

発行所 日本屋根経済新聞社
本社 TEL (03) 3394-3211
〒167-0033 FAX (03) 3394-2119
東京都杉並区清水2-22-13
http://www.yanet.co.jp/
編集部 TEL (03) 3263-2993
〒102-0071 FAX (03) 3263-3000
東京都千代田区飯田橋1-10-5
電子メール: news@yanet.co.jp
購読料: 年間22,000円(税込)
(送料サービス)

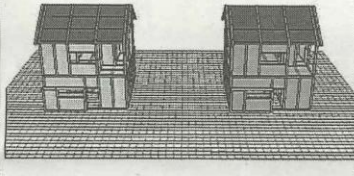
「ウォールスタット」対応済み建材の認証対象 協会(中川貴文代表理事)が、今年1月17日に設立した。会場には屋根材を含む 建材メーカーや団体約50社とマスコミ多数が詰めかけた。

「ウォールスタット」対応済み建材の認証対象協会(中川貴文代表理事)が、今年1月17日に設立した。会場には屋根材を含む建材メーカーや団体約50社とマスコミ多数が詰めかけた。

耐震シミュレーションによる再現



振動台実験



シミュレーション

※同協会の資料より転載

「ウォールスタット」対応済み建材の認証対象協会(中川貴文代表理事)が、今年1月17日に設立した。会場には屋根材を含む建材メーカーや団体約50社とマスコミ多数が詰めかけた。

瓦業界

工務店ら元請けへ

ソフトの有効活用提案

全国陶器瓦工業組合連合会と全日本瓦工業連盟が2017年8月に発行した「瓦屋根の耐震性を知る」瓦屋根は地震に弱いという風評は本当か?というパナフレットは、ウォールスタットを使った耐震シミュレーションの結果を分かりやすくまとめたもの。古い建物で屋根を軽くしても効果が限定的であること、逆に耐震性を補強すれば瓦屋根で十分な耐震性を確保できることなどが示されている。

同協会の資料より転載

「ウォールスタット」対応済み建材の認証対象協会(中川貴文代表理事)が、今年1月17日に設立した。会場には屋根材を含む建材メーカーや団体約50社とマスコミ多数が詰めかけた。

同協会の資料より転載

「ウォールスタット」対応済み建材の認証対象協会(中川貴文代表理事)が、今年1月17日に設立した。会場には屋根材を含む建材メーカーや団体約50社とマスコミ多数が詰めかけた。

同協会の資料より転載

同協会の資料より転載

同協会の資料より転載

同協会の資料より転載

同協会の資料より転載

同協会の資料より転載

同協会の資料より転載

同協会の資料より転載

同協会の資料より転載

同協会の資料より転載

同協会の資料より転載

同協会の資料より転載

同協会の資料より転載

同協会の資料より転載

同協会の資料より転載

同協会の資料より転載

同協会の資料より転載

同協会の資料より転載

同協会の資料より転載

同協会の資料より転載

同協会の資料より転載

同協会の資料より転載

日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4
編集・営業 ☎03-3820-3500
FAX03-3820-3519
総務・販売 ☎03-3820-3511
FAX03-3820-3518
https://jfpj.jp/
eメール info@n-mokuzai.com
購読料 1ヵ月 6,200円
©日刊木材新聞社 2019
本紙の無断複製(コピー・PDF)配布は、著作権の侵害にあたり違法です。

木と共に
新時代へ
木材建材ワイワリー
Japan Lumber Reports
電子版

ウォールスタットの普及へ協会設立

講習会受講者の認証制度も

耐震性能見える化協会

耐震性能見える化協会(奈良県吉野郡、中川貴文代表理事)が一般社団法人として設立され、活動を始める。中川貴文京都大学准教授が開発した木造住宅の倒壊シミュレーションソフト「ウォールスタット」を使い、住宅の耐震性能を「見える化」し、耐震性能の新しい尺度としての普及を目指すしていく。

ウォールスタットは、籍時に開発した。木造中川氏が建築研究所在 住宅を構成する構造

材、接合部材、制震材、余力となる仕上げ材など構造要素の一つひとつの性能を数値化。実際に観測された地震動を与え、要素がどのよう挙動し、建物全体が倒壊に至っていくかを計算する。時刻歴応答解析の高度な検証を簡単な操作で行うことが可能だ。



中川 代表理事

アニメーションによる倒壊過程シミュレーションは施主などが見ても分かりやすく、構造的な弱点を補強する。多方面から応用アプリの開発や技術支援、指導の要請が寄せられている。

Dベンダーなどでは、自社のCADソフトとウォールスタットをCEDEXMの中間ファイアを介して連携できるような開発が行われている。多方面から応用アプリの開発や技術支援、指導の要請が寄せられている。

協会ではウェブサイトの運営、建材データベース化、実務者講習会の開催、京都駅前でのミニ講習会といった活動のほか、講習会受講者の認証制度の構築、建材などの対応製品のデータ提供などを

会が一般社団法人として設立された。CADソフトベンダーや建材メーカー、ダンパーメーカーなどへ社員化の案内を行い、15社程度の参加表明を受けている。

会員種別はサポート会員(社員、議決権あり)、コラボ会員(年会費制、議決権なし)、マスター会員(講習会受講者)、ウェブ会員

が可能な、アニメーションによる倒壊過程シミュレーションは施主などが見ても分かりやすく、構造的な弱点を補強する。

Dベンダーなどでは、自社のCADソフトとウォールスタットをCEDEXMの中間ファイアを介して連携できるような開発が行われている。

協会ではウェブサイトの運営、建材データベース化、実務者講習会の開催、京都駅前でのミニ講習会といった活動のほか、講習会受講者の認証制度の構築、建材などの対応製品のデータ提供などを

(無料)を設ける。本部は中川氏の出身地である奈良県川上村に置き、栗山忠昭村長も呼び掛け人として参加した。呼び掛け人には藤澤好一シーデクセマ評議会理事長も参加、連携団体としても活動する。ウォールスタットでは吉野材などの強度を生かした計算が可能のため、地域材の認証制度との連携なども模索し、吉野かわかみ社中と連携もしていく。事務局はオプコード研究所に置く。中川代表理事の話ウォールスタットは耐震性能見える化し、力の流れを目でみて説明できるツールで、適切に普及していきたい。講習会受講者を対象にした資格制度を作り、しっかりと伝えるようにしていきたい。工務店同士の共通概念として新しい尺度になるようにしたい。